

平成26年 年頭所感



東京都正札シール印刷協同組合
理事長 田中 浩一

あけましておめでとうございます。

平成26年の新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。
旧年中は、当組合に対して格別なるご支援、ご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

さて、「アベノミクス」「2020年 東京オリンピック・パラリンピックの決定」など、景気の良い話しがマスコミを通して伝わって参りますが、われわれ中小・零細企業におきましては、依然として厳しい状況が続いております。また、今年4月には、消費税の増税が実施されますが、さらに円安による資材関係の値上げも懸念されるところであります。

こうした時期だからこそ、組合員一丸となって知恵と工夫で、この厳しい経営環境を乗り切ろうではありませんか。

当組合は昨年5月の総会において、役員改選を行いました。若返りも果たしましたし、組合活動や自社の事業に対し、積極的に考え・行動する方々が増えました。この機を活かして、更なる発展を考えております。具体的には、「ビジネスマッチング大会」の充実や、協賛会の皆様との連携、さらに当組合の支部体制の見直しなど、本当に忙しい一年になりそうであり、充実した一年としたく、重ねて皆様方のご協力をお願い申し上げます。

経済的には厳しい状況が続くと思われませんが、肩をすぼめる事なく、胸を張って勢いよく有意義な年となるよう組合活動を行っていく所存であります。

皆様方には、当組合の事業への参加、ご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年がご繁栄とご健勝を謳歌できます一年となります事を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。